



リビエラ

第1531回例会報告

平成29年 11月 30日 (木) 晴れ

会長挨拶

会長 高山 巖

先週は、久しぶりにお休みをいただき、会長挨拶を何も考えない事の喜びに浸ることができました。

然るに、行事としてはいろいろありました。

1 1月20日には会長幹事会がマリオであり、2 2日には大澤ガバナー補佐年度の忘年会がありました。“大澤会”と名付けられ、大澤親分の人望・義理と人情がそのまま、面目躍如といったところです。それから23日は“日限地藏尊奉賛学生書道展”の表彰式に出席しました。諏訪湖ロータリークラブ賞として「橋爪向日葵」（ひまり）さんという、女子中学生に授与しました。



私が俯き気味に「賞状…」と読みあげ、賞状を手渡す瞬間、彼女と目が合ったのですが、彼女が決して美人であったばかりでなく、その目の輝きが素晴らしすぎて、思わず私の体には電気が走りました。申し訳ないことに諏訪湖ロータリークラブ賞は、それほど上位に位置している賞であるとは思わないのですが、その賞を受賞できる喜びが、オーラのように彼女の体中から感ぜられました。なんと素晴らしいことでしょうか！ 1位になることばかりが全てでは無い！と勉強させられました。彼女が将来、きっと立派な書家になることを願わずにはいられませんでした。25日は、「第35回下諏訪 保・小・中・特・高 健全育成研究集会」という、下諏訪町における、それぞれの学校の生徒さんによる、日頃の外部の人々、団体等との活動実践成果の研究発表会に呼ばれました。「諏訪湖ふれあい体験学習」「里山整備」の一環として、下中生徒と私たちが協働している「私たちのブナ」における植林作業の体験発表が、パワーポイントを使って詳細に行われました。諏訪湖ロータリークラブと関わった経緯、なぜブナの木を植林するのか、植林作業時の大変さ、鹿害防止ネットのこと、「私たちのブナ」看板のこと等、素晴らしい出来映えで見ている私は

★幹事報告

【報告事項】

1:クリーン下諏訪本部より、「クリーン下諏訪運動」実施に伴うご協力の御礼の手紙をいただきました。

【連絡事項】

【受領文書】

1. 月信が届きました。

♪出席報告		♪ニコニコBOX		♪今週のことば
会員数	37人	5名	7,000円	湖浄連-クリーン祭の反省会があり、湖上観察会について大変おほめをいただき、来年もよろしくと言われてきました。萩田 均 卓話をさせていただきます。 河西 達雄
出席対象	37人	累計	236,000円	
出席者数	28人	目標額	60万円	
出席率	75.7%	達成率	39.3%	
前回修正	75.7%			

♪今週のことば～続き～



会長挨拶～続き～



感動しました。中学生の皆さんは結構 大人目線で物事を判断していることに感心もしました。できうれば、我がクラブでもそのまま披露していただきたいものです。特に、なぜか私のいい顔が動画にてほんのちょっと映っていました。

こんなところで、今日はちょっと早めに終わらせていただきます。ご静聴ありがとうございました。

～第35回下諏訪保小中特高健全育成研究集会～
青少年奉仕委員会 萩田会員



11月25日、第35回下諏訪保小中特高健全育成研究集会が、下諏訪町総合文化センターにおいて開催され、高山会長とともに参加してきました。



学校、地域が連携して取り組む健全育成のあり方をテーマに、例年先生PTA 団体役員勉強会であったものを、本年は子どもたちの発表会形式になり、そのなか、下諏訪中学校の生徒の発表が、私たちのブナをテーマに活動の発表がありました。そこで高山会長からRCから子どもたちへ思いをバトンタッチする、環境問題の関わりを発表していただきRC をPR していただきました。子どもたちの発表ではRC の思いをしっかりと受け継いでいる中学生の発表に感動しました。

～広報を考える～

クラブ会報・雑誌広報委員会 河西会員



今年は、山崎委員長と小口直久幹事の努力もあり何回か地元のマスコミに諏訪湖ロータリーのことを取り上げられました。とても嬉しい限りです。実は会長を務めさせていただいた昨年、「ロータリーのイメージ向上」を基本の目的にしながら何もできなかったことを大変悔やんでおりました。今年の委員長や幹事の手法を見ていると「なるほどな」と思うことがしばしばです。



その例として今年の「小学生のための湖上観察会」を見てみます。やはりこまめな連絡が大切なことだとわかります。報道の結果ロータリーがどれだけ認知されイメージの向上に役立ったかは別として、携わった私たちのモチベーションが上がるのは間違いありません。公共イメージの向上はやはり大切です。

さてクラブ会報ですが、今年から作成を担当していただいている宮坂陽子会員の努力とカラー化でかなり読みやすくなったのではないかと思います。



昨年まで作成に携わっていた私自身は、ウィークリーは本当に読まれているのだろうかとか去時々考えさせられてしまいました。しかし読まれる広報も大切ですが、その週欠席してしまった会員のための報告としての役目、記録としての会報の役目もやはり大切なものと思います。

『ロータリーのイメージ向上について』

～広報を考える！～



クラブ会報についてはウィークリーの内容を面白く充実させることは言うまでもありませんが、まずは会員個々のPRをウィークリー紙面に行いメンバーのイメージ向上を図ります。

2600地区ではこの委員会を「公共イメージ向上委員会」と改称し、趣旨を次のように言っています。
1. 公共イメージがよければ、クラブと地域社会もよくなり、入会への関心も高まります。
2. ロータリーイメージ向上のための方法を紹介する。
3. 地元メディアに取り上げられた活動を紹介する。
4. SNS、HPを使った情報発信について意見交換する。
5. 重点事業として、メディアに向けた広報を推進する。としています。



マスコミ報道を有意義に利用しロータリーイメージ向上、認知度を上げることを目標として取り組みます。



クラブ会報・雑誌広報委員会一同頑張っています引き続きご協力をお願いいたします。

